

よろしければアンケートにご協力ください。  
<http://kawamura.gyamon.co.jp/questionnaire/>



## レバーかんけつ

### ◆フリーサイズのパイプ接続器具◆

呼び径 65 ~ 呼び径 600  
(NS 管は呼び径 250 まで)


## 取扱説明書

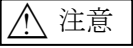
この取扱説明書は、レバーかんけつを正しく、安全に使用していただくための作業手順と注意事項を記載したものです。


使用前に必ず、お読みいただき、内容を十分ご理解の上で使用してください。

\*本書の記載事項は、予告無く変更することがあります。190222


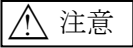
## ○安全にご使用頂くための注意事項

 **警告** 誤った取り扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容をしめします。

 **注意** 誤った取り扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容をしめします。

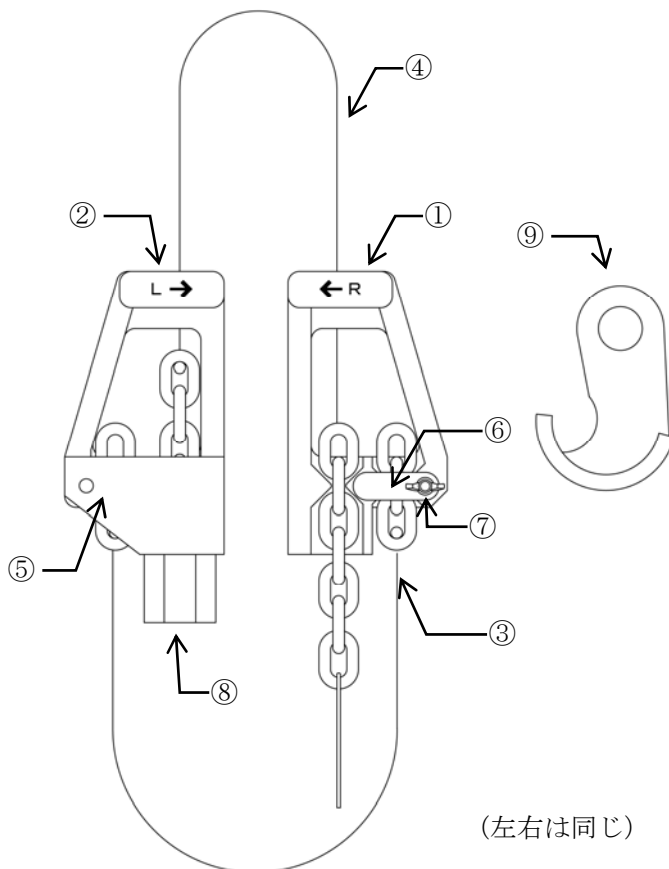
なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので必ず守ってください。

 <b>警告</b>	
○	作業の際は安全靴・ヘルメット・保護手袋等を着用してください
○	接合器具を取り付ける場合は、手足や衣服等挟まないよう注意してください
○	鎖取付部を確実に固定しているか確認してください
○	レバーホイストは 800kg 以下の物をご使用ください
○	レバーホイストを取り付ける場合は、接合器具のフックに確実に掛けてください
○	レバーホイストには、規定以上の荷重をかけないでください
○	対応していないサイズの管では使用しないでください
○	管の接合又は解体以外の使用は避けてください
○	管や接合器具を持ち運びする場合、手を挟んだり、足に落としたりしないように注意してください
○	ひび割れ、変形、又は破損等の個所があれば、直ちに使用をやめてください
 <b>注意</b>	
○	本製品はパイプ全般を想定した接合器具ですが、場合によっては使用出来ない可能性もあります。各パイプメーカーの作業手順に従って使用してください。
○	必ず接合器具の連結鎖長さを管の口径に合うように調整してから使用してください
○	接合器具をセットする場合、出来るだけ鎖に弛みのないようにしてください
○	接合時は片引きにならないように、各レバーホイストを均等に操作してください
○	レバーホイストを取り外す時、器具が滑る場合がありますので注意してください
○	使用後は付着した泥などを除去し専用ケースに保管してください

# 1. レバーかんけつの各部名称

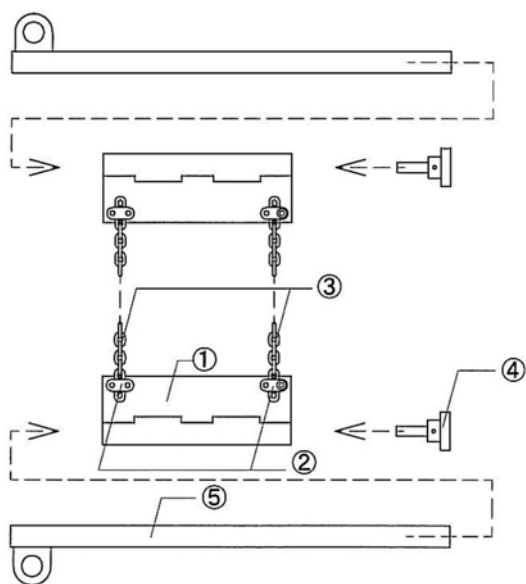
## (1)接合器具



部品表	
①	R側締付部材
②	L側締付部材
③	連結鎖
④	ガイド付鎖(⑧と一体型)
⑤	スライドカバー
⑥	鎖固定プレート
⑦	蝶ネジ
⑧	締付ナット(④と一体型)
⑨	補助ジグ

重量表	
本体	8kg

(2) 解体器具(オプション)



解体器具部品表	
①	ガイドパイプ
②	鎖固定プレート
③	鎖
④	加圧プレート
⑤	スライドバー

重量表	
本体	18kg

(3) レバーホイスト(オプション)



※破損の原因となりますので、レバーホイストは必ず 800kg 以下の物を使用してください。

## 1. レバーかんけつ使用手順

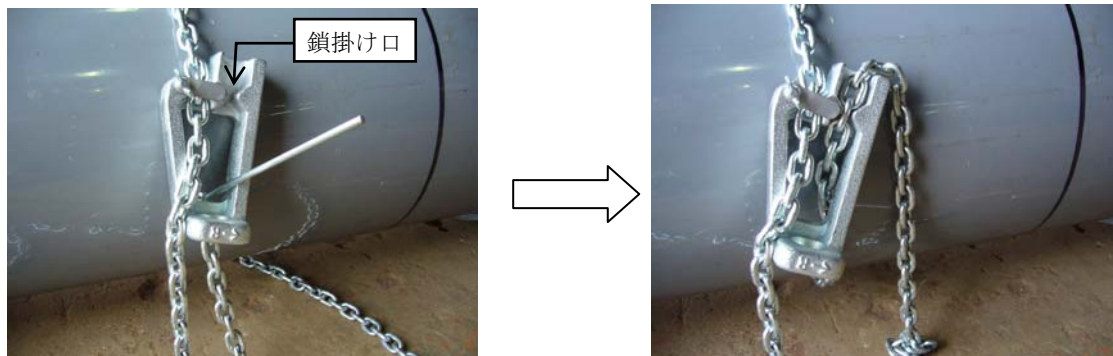
- ① 締付部材の引き方向矢印を内側に向けて、管の受け口側と挿し口側に本体を取り付けます。



- ② 締付部材のフック穴が管の中心付近になるようにR側締付部材の固定プレートを弛めて鎖位置を移動し調整します。



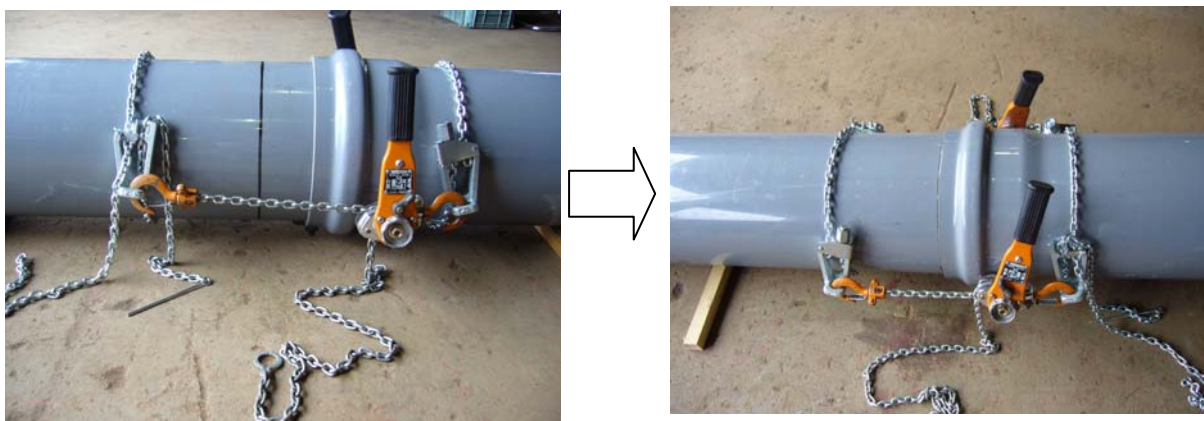
- ③ ガイド付鎖を管の外周に巻くようにしてR側締付部材のくり抜きの中をくぐらせ、鎖掛け口に掛けます。



- ④ L側締付部材の締付ナットを手で締めます。管の受け口側、挿し口側のどちらも同じ操作を行ってください。

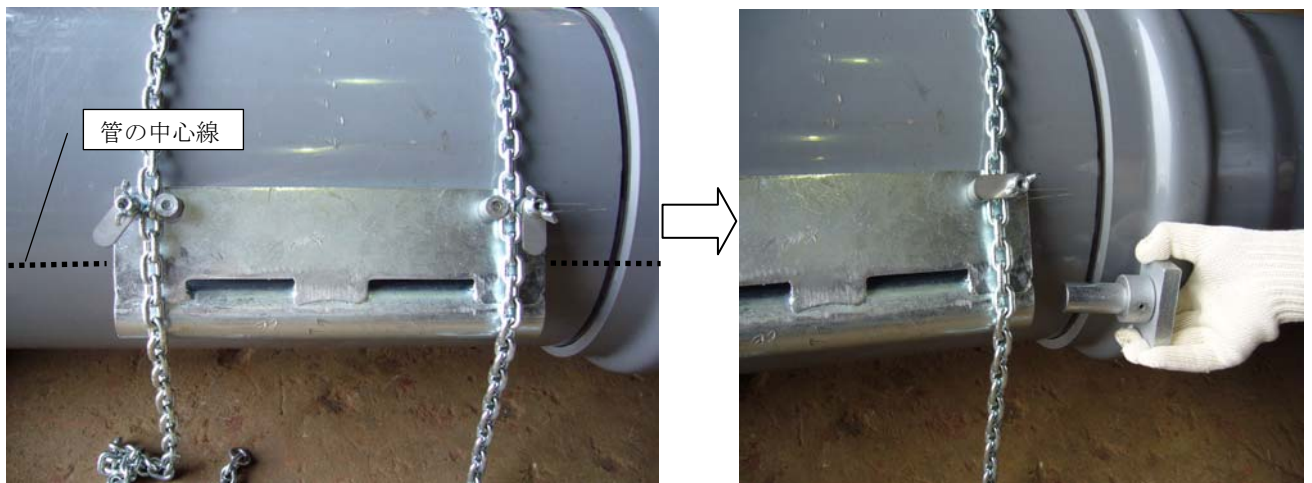


- ⑤ 両側の締付部材のフック穴にレバーホイストを掛け、左右均等に引き込みます。



## 2. レバーかんけつ解体手順

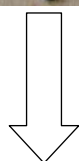
- ① 管の挿し口側にガイドパイプを乗せ、鎖固定プレートを弛めてガイドパイプが管の中心に来るように鎖の長さを調整し、両側ガイドパイプ先端に加圧プレートを差し込んでください。



- ② レバーかんけつの引き方向矢印を外側に向けて取り付け、締付ナットを手で締めてガイドパイプを固定します。



- ③ スライドバーをガイドパイプの中に挿入し両側にレバーホイストを掛け、左右均等に操作して引き抜いてください。



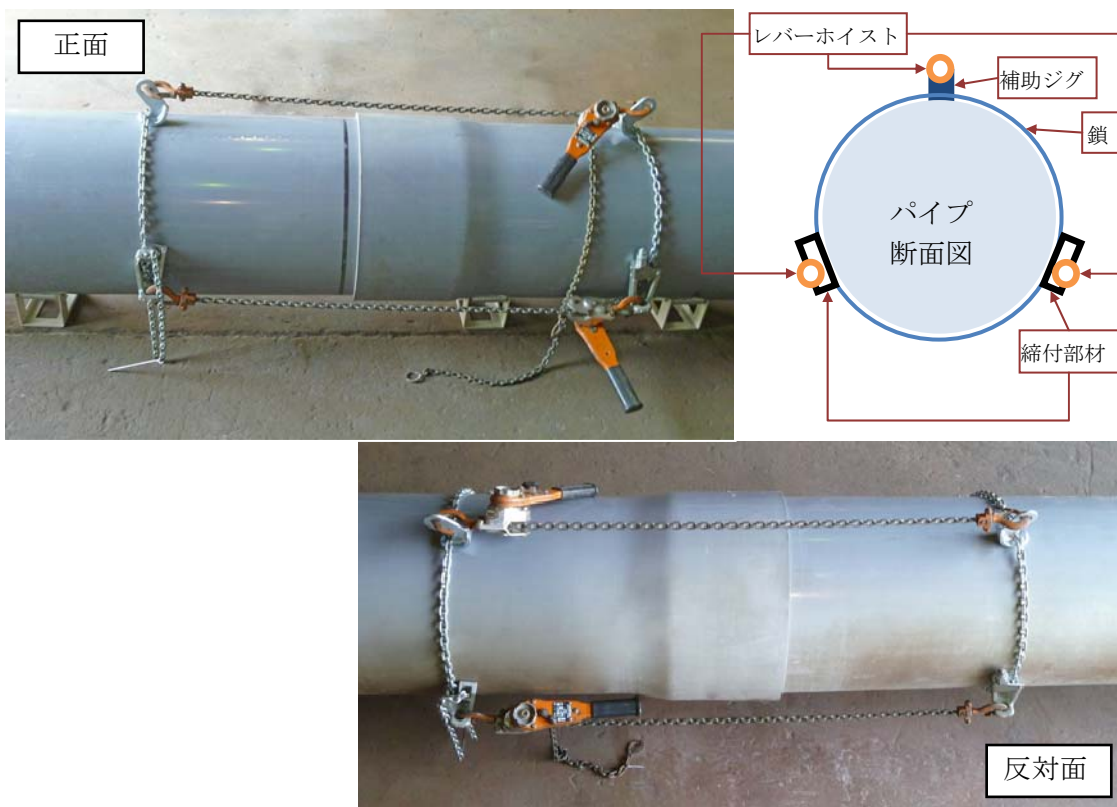


### 3. 補助治具の使用方法

- ① レバーかんけつをパイプに取り付け、パイプの頂点に掛かる鎖の下に補助ジグの先端がパイプの端に向く様に補助治具を引っかけます。反対側も同様に取り付けます。



- ② それぞれの鎖掛け口にレバーホイストを取り付けて3点引きします。



#### 4. NS 鑄鉄直管の接合（※NS 管は呼び径 250 までしか使用出来ません。）

- ① 締付部材の引き矢印部がパイプの中心に来るよう締付部材を取り付けます。

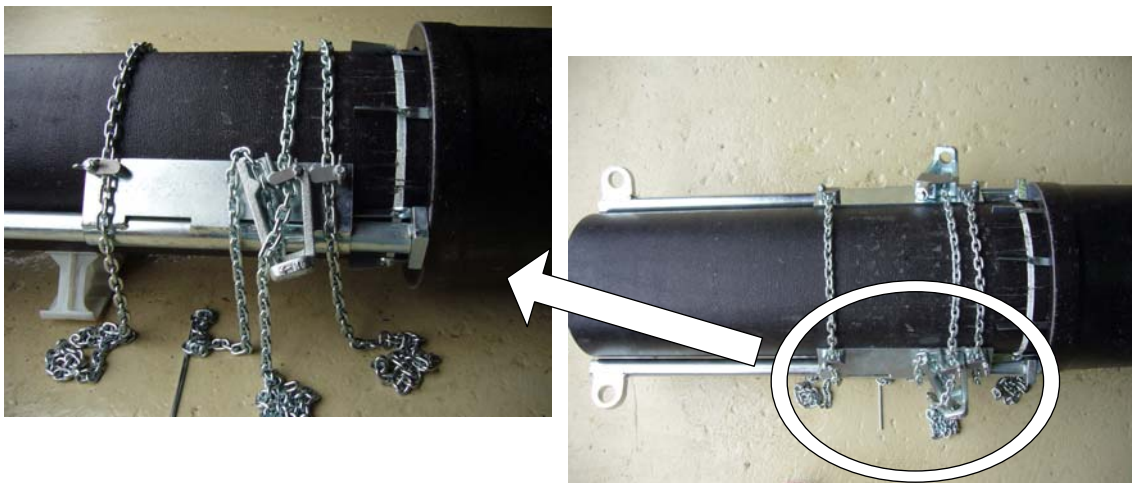


- ② レバーホイストを締付部材に掛け、左右均等に引き込みます。

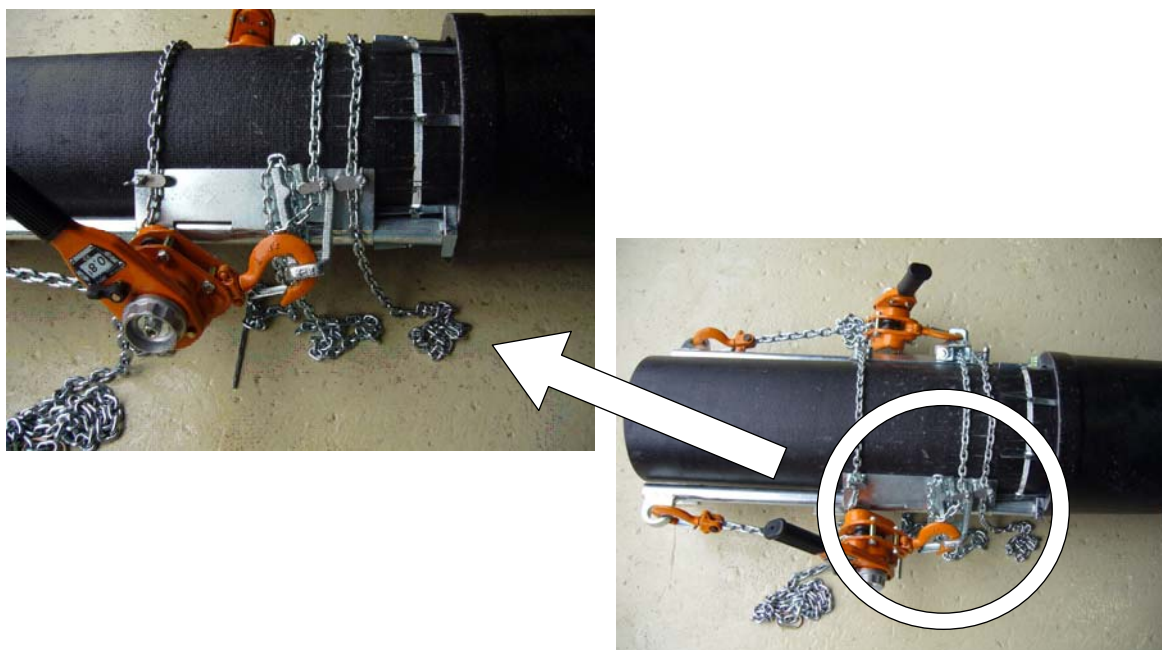


## 5. NS 鑄鉄管の解体

- ① 解体矢を打ち込んだ後、解体矢に鎖が触れない位置に解体器具を取り付けます。



- ② レバーホイストを締付部材に取り付けて、左右均等に引き抜きます。



使用手順は動画でもご確認いただけます。



有限会社川村製作所  
大阪府堺市西区鶴田町30番51号  
TEL 072-272-2269 / FAX 072-273-8847